

病院を受診された患者さまへ(第 2.0 版)

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL) に対する同種造血幹細胞移植成績の後方視的コホート研究 (22-2290-01-00-00)
当院の研究責任者 (所属)	仲地 佐和子 (第二内科)
研究機関	琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 (琉球大学病院第二内科) (研究責任者名: 仲地佐和子)
既存情報の提供を行う 機関	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 (担当者: 西原 実)
本研究の目的	成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL) に対する同種造血幹細胞移植成績を後方視的に解析し、移植実施期間別で比較することで臨床的特徴及び生存改善に寄与する項目を明らかにすることを目的とする。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～ 2026 年 3 月 31 日
調査データ(該当期間)	2000 年 1 月～2024 年 3 月末日の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さま①2000 年 1 月から 2024 年 3 月に琉球大学病院とハートライフ病院において同種造血幹細胞移植が実施された成人 T 細胞白血病リンパ腫の症例②成人症例 (18 歳以上)●利用する試料・情報① 基本情報: 生年月、性別、診断日、診断名、病型、診断時 stage、診断時の performance status、節外病変の有無、ATL-PI、診断時身体所見② 同種造血幹細胞移植情報: 移植日、移植時の performance status、移植時病期、HCT-CI、ドナー情報 (性別、関係)、HLA (患者)、HLA (ドナー)、移植前処置、輸注細胞数、GVHD 予防法、生着の有無、生着までの日数、GVHD の有無、GVHD 重症度、GVHD 発症日、移植後再発の有無、合併症、生存状況、死因③ 血液検査 (診断時と移植時): LDH、可溶性 IL-2 受容体④ 治療情報: 移植前の化学療法プロトコール、化学療法の治療効果、有害事象及び重症度、移植後再発した場合の治療歴、移植後再発に対する化学療法の治療効果
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	既存情報の提供を行う機関から研究機関への情報の提供は、パスワードをかけた USB で行う。
試料・情報の二次利用	この研究のみに使用し、二次利用は行いません。
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化した状態で利用します。既存情報の提供を行う機関から情報を得る際も匿名化された状態で授受する。論文作成時、また学会発表時には個人が容易に特定できる情報は一切用いません。保管期間終了後にデータはファイル消去により破棄します。

本研究の資金源(利益相反)	この研究の投稿料は講座管理の寄附金にて捻出いたします。 本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を 申告し、その審議と承認を得るものとします。
お問い合わせ先	琉球大学病院 第二内科 電話：098-895-1146 担当者：北村 紗希子